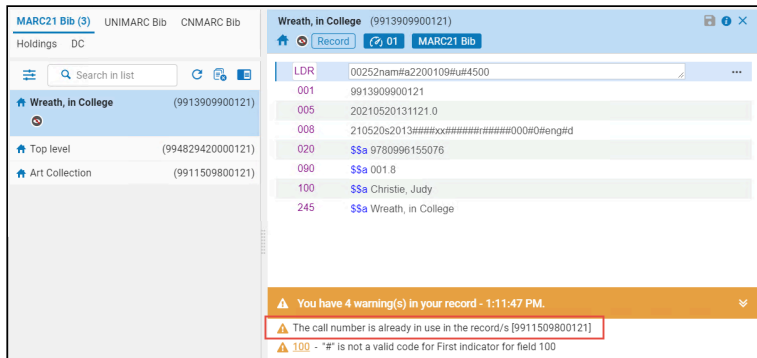


重複する請求番号の管理

適切に設定すると、MDエディタで書誌レコードを操作しているときに、Almaで重複する請求番号をチェックできます。具体的には、CNMARCの905\$s、090\$a、090\$b\$sまたはMARC 21の09X(任意のサブフィールド)などのローカル請求番号フィールドに請求番号を入力すると、重複する請求番号をアラートする検証タスクを設定できます。



重複する請求番号の検証

設定すると、重複したコールナンバーが発生したときに、MDエディタに次のようなメッセージが表示されます：請求番号はすでにレコード[...]で使用されています。詳細については、[検証例外プロファイルの操作](#)を参照してください。

この機能の設定は、[MARC 21書誌およびCNMARC書誌メタデータ設定] プロファイル ([設定 > リソース > 目録 > メタデータ設定]) の検証プロセスタスクによって処理されます。設定手順については、[検証タスクの設定](#)を参照してください。

Note

この機能は、MARC 21およびCNMARCのローカル請求番号索引を使用します。ローカル請求番号の索引が作成されているフィールド/サブフィールドについては、[検索の索引](#)ページを参照してください。

検証タスクの設定

Almaが重複する請求番号をチェックし、MDエディターでアラートメッセージを表示するには、[検証タスク](#)を設定する必要があります。

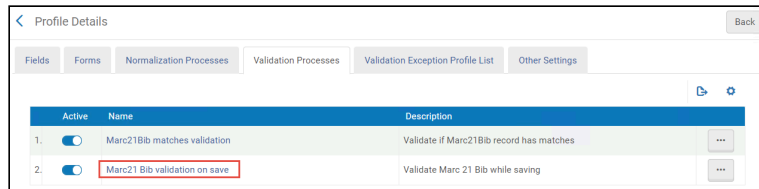
Note

このタスクは、任意の検証プロセスで使用でき、保存時の検証プロセスでの使用に限定されません。

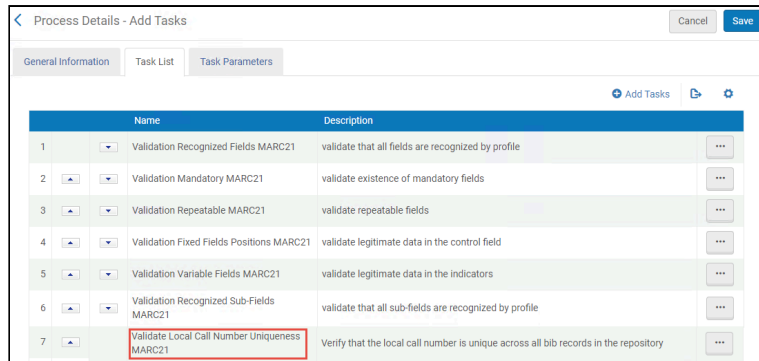
ローカル請求番号の検証タスクを設定する方法

1. MARC 21書誌またはCNMARC書誌メタデータ構成プロファイルを開きます (設定 > リソース > 目録作成 > メタデータ設定 > アクティブ プロファイル)。

2. 行アクションリストで **編集** を選択します。
3. 検証プロセスタブで、**Marc21** 書誌 保存時の **検証**（または **Cnmarc** 書誌 保存時の **検証**）プロセスを編集します。詳細は [編集検証プロセス](#) を参照してください。



4. タスクリストタブで、タスクの**追加**を選択し、ローカル請求番号の一意性 **MARC21**を検証するタスクを選択します。その後、**追加して閉じる**を選択します。



5. タスクリストを **[保存]** します。
6. **MARC 21** 書誌または **CNMARC** 書誌メタデータの設定プロファイルに戻り、修正したプロファイルの **デプロイ** を選択します。